

Shapo 市川カップ 2017(第 48 回市川市少年サッカー親善大会 6 年生の部) 実施要項

[大会趣旨]

- ◎ 大会を通して、選手相互の親睦を深め、健全育成を図る。
- ◎ 試合を通して、ゲームを楽しみ、サッカーを愛する子を育てる。
- ◎ 指導力および審判の技術の向上を図る。

1. 大会名 Shapo 市川カップ 2017(第 48 回市川市少年サッカー親善大会6年生の部)

2. 主催 市川市サッカー協会

3. 主管 市川市サッカー協会第四種委員会

4. 後援 市川市 市川市教育委員会

5. 特別協賛 Shapo 市川・本八幡 (株)ジェイアール東日本都市開発

6. 協賛 JR 東日本、JEF UNITED、SPORTSDEPO、モルテン

7. 大会日程

- ・ 予選リーグ 平成30年1月6日 7日 予備日 8日

【会場】中国分スポーツ広場(アレグリ) 国府台スポーツセンター(南市川 JFC)

柏井小 信篤小 二俣小 稲越小 百合台小 富美浜小

- ・ 決勝トーナメント 平成30年1月8日 予備日(1月14日)

【会場】 国府台スポーツセンター(A) 中国分スポーツ広場(B)

- ・ 決勝戦 平成30年3月上旬

【会場】フクダ電子アリーナ

8. 参加資格

- ・ 参加チームは市川市サッカー協会第四種委員会に加盟登録すること。
- ・ 参加選手は市川市サッカー協会第四種委員会に個人登録すること。
- ・ 大会参加者は全員、スポーツ安全協会傷害保険等に加入のこと。
- ・ 大会参加者は全員、保護者の承諾を得ていること。
- ・ 参加チームは、所定の大会参加申し込み手続きを終えたチームであること。

チーム申し込み締め切り 11月13日(月)

事前メンバー登録表締め切り 12月 2日(土)

- ・ 当該学年の選手が14名以下の場合、下学年から補充することができる。下学年から補充した場合は登録メンバーの合計を14名とする。この場合、大会趣旨を踏まえ、当該学年の選手の試合にでる機会を妨げることがないようにし、また、補充した選手を会場責任者に申告すること。
- ・ 大会に2チーム以上の参加が認められた場合、抽選を行う当日、事務局にそれぞれのチームのメンバー表を2部提出すること。その上で抽選を行うこととする。

9. 競技規則

- ・ 競技規則は「サッカー競技規則」による。
- ・ 11人制サッカー
- ・ 試合時間は20分ハーフ
- ・ 選手の交代は自由
- ・ 試合球は4号使用
- ・ PKのポイントは8mとする。 ※国府台スポーツセンター会場は9mとする。
(フクダ電子アリーナ会場は、競技中は9m、PK戦は11mとする。)
- ・ 競技場のセンターサークルは、少年用半径7mとし、ゴールエリアは、ポストから少年用4m、中へ少年用4mとする。ペナルティーエリアはポストから少年用12mとする。
(フクダ電子アリーナ会場は、既存のラインをそのまま使用する。)
- ・ 退場を命ぜられた選手は、そのチームの同大会の次の試合のみ、出場することはできない。次の試合が翌日以降であっても、その効果は継続する。

10. 試合方法

- ・ リーグ戦 → ブロック1位・2位 決勝トーナメント

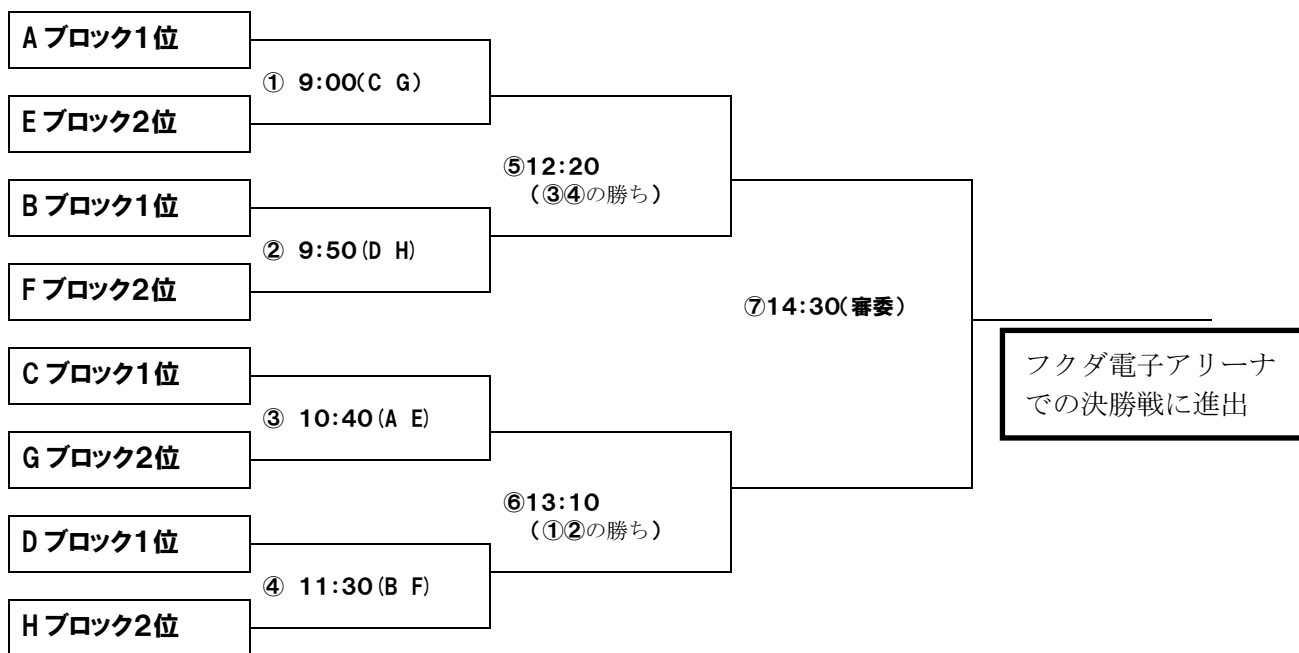
(1) リーグ戦

- ・ 参加チームを8ブロックに分け、リーグ戦を行う。
- ・ リーグ戦は次のような勝ち点を与え順位を決定する。 勝ち-3点 引き分け-1点 負け-0点
- ・ 勝ち点と同じ場合は次の順で順位を決定する。 ①得失点差 ②総得点 ③対戦成績 ④PK戦
3チームがPK戦を行う場合は巴戦とする。
- ・ インフルエンザ蔓延防止等による欠場は、3-0の結果とする。

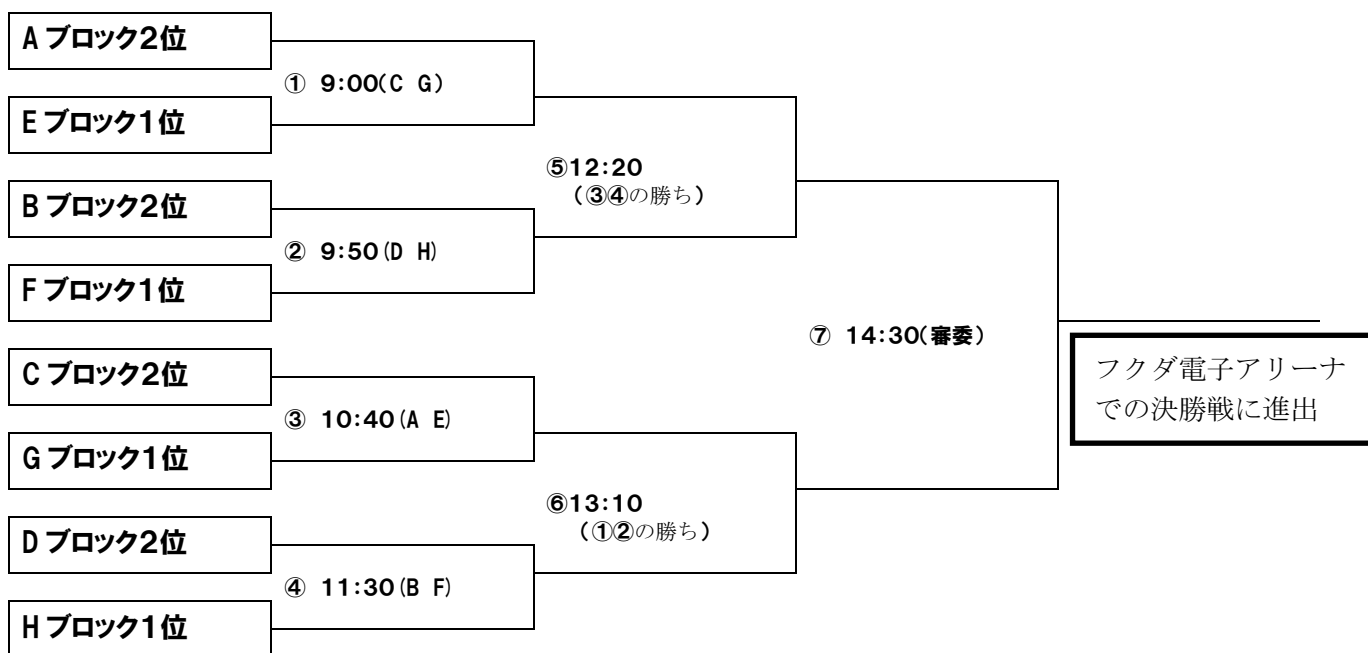
(2) 決勝トーナメント

- ・ 予選リーグ1位及び2位の各8チームがトーナメント戦を2会場にて行う。それぞれのトーナメントを勝ち上がった1チームがフクダ電子アリーナでの優勝決定戦を行う。
- ・ 同点の場合は、PK戦(5人ずつ蹴り、6人目からゴールデンゴールとなる通常のもの)にて上位進出チームを決める。決勝戦も即PK戦にて決定するが、決勝戦のみ5人ずつ蹴り決着がつかない場合は、両チーム優勝とする。3位決定戦は行わない。
- ・ 予選の当該チームが決勝トーナメントに出場できない場合は、次の順位のチームが出場する。

決勝トーナメント(A) 国府台スポーツセンター会場



決勝トーナメント(B) 中国分スポーツ広場会場



11. 運営方法

(1) 審判について

- ・ 5チームリーグは各チーム1名、4チームリーグは各チーム2名の審判員(有資格者)を会場に派遣し、8:30から打ち合わせを行う。
- ・ リーグ戦会場では、試合の無いチームが審判の割り当てに沿って審判を行う。
- ・ 決勝トーナメントでは、1回戦の審判を割り当てに沿って各チームで行う。8:30までに決勝トーナメント進出の各チームは、2名の審判員を会場に派遣し、打ち合わせを行う。
- ・ 審判委員会には、決勝トーナメントそれぞれの会場の決勝戦をお願いする。
- ・ 審判服は必ず着用する。

(2) その他

- ・ 各チームユニホームは2着用意する。
- ・ 各チーム指導者のベンチ入りは3名とする。
- ・ 試合当日メンバー表を所定の書式にそって提出すること。
- ・ 怪我については、応急処置は行うが、その後は保護者の責任において処置する。
- ・ 会場は選手のベンチと保護者の応援場所を区別する。アップの場所やトイレ等の確認をする。
- ・ 会場には絶対迷惑をかけないように、ごみ等の始末をきちんとする。喫煙は会場で指定された場所で行う。
- ・ 駐車をする際には会場の指示に従い、フロントガラス付近にチーム名、氏名を明示すること。
- ・ 開会式は、平成30年1月6日(土)午前9時00分より国府台スポーツセンターにて行う。
- ・ 各チームは必ず配布されている駐車証をフロントガラス付近に明示して会場に入ること。駐車場所は、当日の駐車係の指示に従うこと。各チームはプラカードを持参すること。
- ・ 選手宣誓は抽選会の後、Aブロックの中で決定する。
- ・ 開会式当日、各チームは8:15以降に国府台スポーツセンター会場に入ること。
※駐車場係になっているチームの担当者は、国府台スポーツセンターに7:45に集合する。
※雨天の場合は開会式は行わず、試合時刻は9:00からとする。
- ・ 国府台スポーツセンター会場と中国分スポーツ広場会場は、抽選の際5チームブロックとする。
- ・ 中国分 SH は7日、8日(予備日14日)は8:00開門とする。
- ・ 会場責任者は、試合結果及び審判報告書を事務所に至急 FAX で報告する。
- ・ 会場責任者は、試合結果を記録 HP 担当(行徳 SC 田所)に FAX で報告する。(メールも可)
大会結果報告 市川市サッカー協会第四種委員会事務所 FAX 324-3207
記録(HP)担当(行徳 SC 田所) FAX 357-0256
メール: gyotoku_swallow@major.ocn.ne.jp
- ・ 閉会式は決勝戦終了後、優勝・準優勝チームが参加し、フクダ電子アリーナで行う。
- ・ 3位チームの表彰は準決勝終了後に、国府台 SC 会場・中国分スポーツ広場会場にて行う。

・ 雷の対応について

- ①落雷の予兆があった場合、選手の安全確保を最優先事項とし、速やかに試合を中断し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難する。
- ②試合開始後、雷（暴雨風や突発的な自然災害等）のために、試合を中断した場合、およそ30分間様子を見た上で再開できないと判断した場合、以下のように処理する。
 - ・前半が終了している場合、その時点のスコアにより試合成立とする。
 - ・前半の途中で中断し、再開できない場合は、中断時点からの再試合（スコア・出場選手・試合残り時間等、中断時点のものとする）を行うこととする。ただし、やむを得ない事情で該当選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。
- ③試合の中断は審判員の判断で行うが、会場責任者を中心に試合関係者の連携を密にし、中止等の決定を行うこととする。

12. 表 彰

- ・ **6年生の部 優勝 — 旗(持ち回り)、カップ(市川市教育長杯(持ち回り))、賞状、
カップ(shapo市川杯(持ち回り))、トロフィー、メダル**
- ・ **準優勝 — トロフィー、賞状、メダル**
- ・ **3 位 — トロフィー、賞状**
- ・ **参加賞 — 6年生全員**

13. 試合決定

- ・ **全日 6:00決定**
- ・ **市川市サッカー協会第4種委員会HPに掲載します。**

14. 大会事務局

- ・ **八木孝政 携帯090-1055-1885**

開会式

1月6日(土) 9:00

1. 選手入場
2. 開式の言葉
3. 優勝旗優勝杯返還
(昨年度6年優勝 フッチ SC)
4. 会長挨拶
5. 来賓挨拶・紹介
6. 選手宣誓
市川中央 LK
(國分 陸汰 選手)
7. 審判長注意
8. 閉式の言葉

閉会式

3月上旬

1. 開式の言葉
2. 表彰
3. 会長挨拶
4. 来賓挨拶・紹介
5. 閉式の言葉